



ロッピーが世界をめぐる!

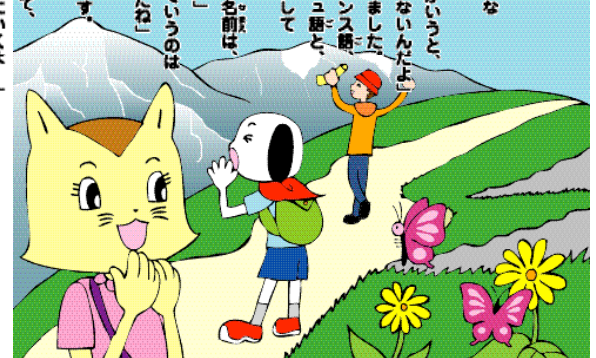


第16話 スイスの旅・前編
監修: 野中 健太

(注) ロンドンデルワールは「Lindelwiler」の誤訳です。
おなじまなはそんごつて話し始めの頃は
このロープウェイは大人気で、いつも行列になっているんだ。ぼくたちも少し遅はないといけないね。その間、通園してのまじ、このロープウェイの時間を、何人の人が乗ることが出来るか、考えてみようか。今からいっしょに考えてみようか。



「それにしても、スイスってほんとに「雪」をかんじさせような地名が多いね。スイス語ってむずかしいや、「リッチー」が「うみ」「ふみ、スイス語、なんてではないんだよ」と、おなじさんが説明をくれました。「スイスでは、ドイツ語、フランス語、それにイタリア語、ロマンス語、なんといつの言語が公用語として使われているんだ。リッチーが舌をかきそうなる前は、全部ドイツ語の名前なんだよ」「へー、じゃあドイツ語っていうのはドイツも「リッチー」もしいんだね」「リッチー、なに？」



「スイスの首都ベルンの南に位置するベルナーオーバーランド地方、リッチーたちも、アイガー、メンヒ、ユングフラウなど山々が連なる一帯にやってきました。旅の拠点にリンドルワルトの小さな村があります。この小さな村は、さまざまな高山植物、青い空、森の緑の風景が広がり、まるで色とりどりの絵の具がのったパレットのようです。今日はこの村からロープウェイに乗って、メンリッペンとゴッツロー山に乗って、展望台を目指します。」



ここで問題!
問題の難易度
★★★★☆

ロープウェイには1時間に何人乗れる?



おなじさんの話
前はね、もう少しロープウェイのゴンドラが速かったんだけど、やっぱり危ないからって、ゴンドラの動くスピードを2割落とすことになったんだ。そのかわり、それまで12人乗りだった

ゴンドラを20人乗りのゴンドラに変えたんだ。でも今はそのおかげで、1時間に乗せることのできる人数が前に比べて180人増えたんだって。

「ゴンドラのスピードが変わらなかったら、単に1台のゴンドラに乗れる人数が20÷12=1と2/3倍になるだけだから1時間に乗せることのできる人数は1と2/3倍になるってこと。」

「ゴンドラの定員が変わらなかったら、1時間に乗せることのできる人数がもとの(10割-2割)=8割、つまり4/5倍になるってこと。」

「ってことは、スピードも定員も変わったら、1時間に乗せることのできる人数は1と2/3×4/5×4/5×1と1/3倍になるね。」

「その結果、乗せることのできる人数が180人増えたわけだから」

(前) ————— | 180人
(今) ————— |
「と考えて、今は1時間に180×4=720人乗せることができるのね!

おなじさんの早わかり スイス豆知識

永世中立国として知られるスイスは、九州よりちょっと大きいくらいの面積。アルプス山脈などが連なっていて、とても風景が美しい国なんだ。時計などの工芸品が有名だよ。

人口: 約739万人 面積: 4.1万km²
言語: ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンス語

中学入試問題にアタック!

平泳ぎの日本代表のK選手が2かきで泳ぐ距離を小学生のA君は5かきで泳ぎます。しかし、K選手が3かきする間にA君は4かきします。K選手が100m泳ぐ間にA君は何m泳ぐことができますか。ただし、小数第1位を四捨五入して答えなさい。(04本郷一 一部省略)

解答
条件から、K選手とA君の1かきあたりに進む距離の比は5:2で、かく速さの比は3:4とわかりますから、結局、泳ぐ速さの比は5×3:2×4=15:8とわかります。よって、K選手が100m泳ぐ間に、
A君は100(m) × 8/15 = 160/3 = 53と1/3(m)進むとわかります。53と1/3 = 53.33...なので、小数第1位を四捨五入して53mが答えです。
(答) 53m